



佐世保市立宇久小学校



所在地 佐世保市宇久町平2690番地
校長 岩谷 豪
児童数 34名 学級数 5学級

I テーマ 『小中高一貫・地域連携を生かした縦横につながる学びのデザイン』

II 目的

幼小中高の学びの連続性を縦のつながり、学社融合・地域連携を横のつながりとした、縦横に広がり深まる、学びの場をデザインすることで、本校教育目標の具現化に資する。

III 実践内容

1 学力テストの実施及び分析

(1) ねらい

児童生徒の学習状況を追跡して指導できる体制をつくとともに、全校児童を対象に学力テストを実施し、本校児童の学力を客観的に正しく把握し、今後の学習指導に生かす。

(2) 活動の概要

個々の児童の学力を把握するため5月に2～6年生、12月に1～6年生で調査を実施し、課題の把握及び授業改善に活用した。また、連続的な学力向上にかかる課題を分析することができた。以後の小中高一貫教育における学力向上対策の基礎資料としていく。

2 宇久島宝探し

(1) ねらい

宇久島のひと・もの・ことを題材に学習を展開することで、探究学習の素地及び郷土を愛する心を育てる。

(2) 活動の概要

① 1・2年生

【まち探検】

地域の人々が受け継いできた文化財について、実際に調べる中で地域の歴史を知ることができた。また、地域の施設を訪問することで人々の願いや工夫、努力について考えることができた。

さらに、地域の人に親しみや愛着をもち、子供たちの地域への理解が深まった。



② 3・4年生

【宇久島調べ・魅力の発信】

年度はじめに、他市の学校と互いの町の魅力を伝え合うという交流活動の計画を立てた。そのために、まず、宇久島の観光地について、宇久町観光協会によるガイドで実際の観光地を訪ね、その歴史や特徴などについて、詳しく学習した。また、宇久島の魅力の一つである特色ある体験活動についても、実際に体験することで、その楽しさを実感することができた。

これらの様々な活動をまとめ、他校との交流の中で発表した。年間を通じた活動により、地域への愛情を高めるだけでなく、宇久島のことを知らない相手に魅力を伝えるという目的意識や相手意識をもって活動することで、伝える力を養うことができた。



③ 5・6年生

【米作り】

宇久島の農業や環境への理解、米作りに携わる人たちの苦労や工夫について考えさせることを目的に、学校近隣で米作りを行った。実施に当たっては、地域の方のご協力をいただいた。田植えの体験、お世話をしてくださった地域の方のお話を聞くことを通して、米作りの苦労について、理解することができた。

体験を通して、子供たちは宇久島の米作りの時期が、他の地区と大きく異なっていることを実感した。宇久島の環境の特性の理解につながるとともに、環境に適した農業を工夫して行っていることを知り、農業への理解やふるさと宇久島を愛する気持ちの一助になったと考える。



3 ふるさと交流教育

(1) ねらい

児童が地域や関係機関からの協力を得ながら、様々なかたちで交流し、コミュニケーション力や自分で考え、判断して行動する力を高める。

(2) 活動の概要

たくさんの人と関わりながら学ぶことを目的に、地域の方方をゲストティーチャーとして積極的に学校に招き、交流活動を行った。

1・2年生の昔遊びでは、老人会の皆様手作りのおもちゃで「こつ」を教わりながら遊び、ふれあいの時間を楽しむことができた。

また、今年度も1年間の活動でお世話になった方々を招いて「感謝の会」を開催した。一緒にレクリエーションを楽しんだり、プレゼントを渡したりすることで、自分たちがたくさんの方々に支えられ、充実した活動ができていることを実感し、協力してくださる方への感謝の気持ちや、これからの活動への意欲を高めることができた。

